



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 梅澤 茂樹 TEL 03-5399-8111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	8,730	△9.8	60	△72.6	111	△47.2	134	74.7
2020年3月期	9,679	△11.9	219	△60.2	210	△60.8	76	△81.9

(注) 包括利益 2021年3月期 150百万円 (103.2%) 2020年3月期 74百万円 (△83.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	44.65	—	4.2	1.5	0.7
2020年3月期	25.56	—	2.5	2.9	2.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	7,310	3,240	44.3	1,079.17
2020年3月期	7,378	3,119	42.3	1,038.90

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,240百万円 2020年3月期 3,119百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	381	△170	9	1,257
2020年3月期	205	△150	△320	1,037

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	30	39.1	1.0
2021年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	30	22.4	0.9
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2022年3月期の期末配当予想については未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	3,008,000株	2020年3月期	3,008,000株
2021年3月期	5,660株	2020年3月期	5,628株
2021年3月期	3,002,357株	2020年3月期	3,002,375株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,641	△10.9	△13	—	64	△44.0	112	361.5
2020年3月期	5,211	△15.3	109	△74.5	115	△73.4	24	△93.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	37.49	—
2020年3月期	8.12	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,544	2,745	49.5	914.35
2020年3月期	5,307	2,661	50.2	886.57

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,745百万円 2020年3月期 2,661百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

2. 2022年3月期の期末配当予想につきましては、現時点におきましては未定とさせていただきます。予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、中期計画（2018～2020年度）に基づき、鉄鋼製品事業において、みがき帯鋼およびステンレスの両分野で事業の拡大と強靱な企業体質の確立に努めてまいりました。

しかしながら、当連結会計年度における当社グループの経営成績は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、自動車部品向けを中心に、上期は受注数量が大幅に減少したものの、下期には受注数量が回復し、加えて、拡販や徹底したコスト削減に取り組み、2020年度としては黒字を確保することができました。

その結果、当連結会計年度の売上高は8,730百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は60百万円（前年同期比72.6%減）、経常利益は111百万円（前年同期比47.2%減）となりました。繰延税金資産計上による法人税等調整額の計上により親会社株主に帰属する当期純利益は134百万円（前年同期比74.7%増）となりました。

鉄鋼製品事業

みがき帯鋼においては、主要ユーザーである自動車部品向けにおいて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、上期は受注数量が大幅に減少しましたが、下期には受注数量が回復し、収益改善を果たすことができました。ステンレスにおいては、年度を通じて低調に推移しましたが、子会社であるタカサゴスチール(株)の受注数量が下期には回復するとともに、加工品において、5G関連の受注数量が増加し好調に推移しました。

その結果、事業全体の売上高は8,545百万円（前年同期比10.0%減）、経常利益は23百万円（前年同期比79.5%減）となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高は185百万円（前年同期比2.1%増）、経常利益は賃貸物件の修繕工事等の影響により87百万円（前年同期比8.0%減）となりましたが、引き続き業績を利益面で下支えしております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は7,310百万円となり、前連結会計年度末より68百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金と受取手形及び売掛金が増加したのに対して、原材料及び貯蔵品と減価償却により有形固定資産が減少したことによるものです。

負債総額は4,070百万円となり、前連結会計年度末より189百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものです。

純資産につきましては、3,240百万円となり前連結会計年度末より120百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,257百万円となり、前連結会計年度に比べ219百万円増加いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は381百万円（前年同期比176百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益111百万円、減価償却費325百万円、たな卸資産の減少額212百万円に対して、売上債権の増加額115百万円、仕入債務の減少額183百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は170百万円（前年同期比20百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出110百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、差入保証金の差入による支出40百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は9百万円（前年同期は320百万円の使用）となりました。これは主に借入による収入40百万円に対して、配当金の支払30百万円によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	29.2	32.9	40.0	42.3	44.3
時価ベースの 自己資本比率 (%)	30.2	33.2	28.2	22.7	30.6
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	2.3	1.1	0.8	1.5	0.9
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	17.0	37.3	42.6	21.8	47.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループの主要ユーザーである自動車部品向けにおいては、昨年度下期より受注数量の回復傾向が継続しており、加えて、拡販やコスト削減にも取り組んでまいります。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響や半導体不足の影響など先行きが不透明な状況であり、現時点では連結業績予想の合理的な算定が困難であることから、次期の連結業績予想につきましては未定といたします。今後、連結業績予想の算定が可能となり次第、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,082	1,302
受取手形及び売掛金	2,432	2,548
商品及び製品	672	641
仕掛品	288	290
原材料及び貯蔵品	658	474
その他	104	30
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	5,237	5,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,214	3,255
減価償却累計額	△2,363	△2,425
建物及び構築物(純額)	851	829
機械装置及び運搬具	6,546	6,574
減価償却累計額	△5,644	△5,880
機械装置及び運搬具(純額)	902	694
土地	236	236
その他	537	525
減価償却累計額	△504	△482
その他(純額)	33	43
有形固定資産合計	2,022	1,803
無形固定資産		
投資その他の資産	9	25
投資有価証券	14	15
繰延税金資産	39	87
その他	63	96
貸倒引当金	△9	△4
投資その他の資産合計	108	194
固定資産合計	2,141	2,024
資産合計	7,378	7,310

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,541	2,358
短期借入金	300	300
リース債務	0	—
未払法人税等	32	8
未払消費税等	—	59
賞与引当金	55	53
その他	222	208
流動負債合計	3,152	2,989
固定負債		
長期借入金	—	40
繰延税金負債	1	—
役員退職慰労引当金	135	78
退職給付に係る負債	853	842
資産除去債務	31	31
その他	85	87
固定負債合計	1,107	1,080
負債合計	4,259	4,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	1,671	1,775
自己株式	△6	△6
株主資本合計	3,168	3,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	2
退職給付に係る調整累計額	△50	△34
その他の包括利益累計額合計	△49	△32
純資産合計	3,119	3,240
負債純資産合計	7,378	7,310

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	9,679	8,730
売上原価	8,452	7,720
売上総利益	1,226	1,009
販売費及び一般管理費		
販売費	611	571
一般管理費	395	377
販売費及び一般管理費合計	1,007	949
営業利益	219	60
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
業務受託料	2	2
仕入割引	2	1
助成金収入	—	57
環境対策費戻入益	1	—
その他	1	4
営業外収益合計	8	66
営業外費用		
支払利息	9	8
手形売却損	3	3
売上割引	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	17	15
経常利益	210	111
税金等調整前当期純利益	210	111
法人税、住民税及び事業税	58	27
法人税等調整額	75	△49
法人税等合計	134	△22
当期純利益	76	134
親会社株主に帰属する当期純利益	76	134

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	76	134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
退職給付に係る調整額	△1	15
その他の包括利益合計	△2	16
包括利益	74	150
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	74	150
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	1,654	△6	3,151	2	△49	△46	3,104
当期変動額								
剰余金の配当		△60		△60				△60
親会社株主に帰属する当期純利益		76		76				76
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					△1	△1	△2	△2
当期変動額合計	—	16	△0	16	△1	△1	△2	14
当期末残高	1,504	1,671	△6	3,168	1	△50	△49	3,119

当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	1,671	△6	3,168	1	△50	△49	3,119
当期変動額								
剰余金の配当		△30		△30				△30
親会社株主に帰属する当期純利益		134		134				134
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					0	15	16	16
当期変動額合計		104	△0	104	0	15	16	120
当期末残高	1,504	1,775	△6	3,272	2	△34	△32	3,240

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	210	111
減価償却費	348	325
売上債権の増減額 (△は増加)	67	△115
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△145	212
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12	△183
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	△56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△30	0
未収入金の増減額 (△は増加)	△66	64
未払費用の増減額 (△は減少)	△20	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	9	8
その他	△89	70
小計	290	440
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△9	△8
法人税等の支払額	△76	△51
営業活動によるキャッシュ・フロー	205	381
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△147	△110
無形固定資産の取得による支出	—	△20
差入保証金の差入による支出	—	△40
その他	△3	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△150	△170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10	—
長期借入れによる収入	—	40
長期借入金の返済による支出	△112	—
社債の償還による支出	△125	—
リース債務の返済による支出	△13	△0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△60	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△320	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△266	219
現金及び現金同等物の期首残高	1,303	1,037
現金及び現金同等物の期末残高	1,037	1,257

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「鉄鋼製品事業」、及び「不動産事業」の2区分を報告セグメントとしております。

鉄鋼製品事業はみがき帯鋼、みがき特殊帯鋼、ステンレス鋼帯等の製造・販売を行っております。不動産事業は不動産の賃貸、管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用されている会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2019年4月1日至2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,497	181	9,679	—	9,679
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,497	181	9,679	—	9,679
セグメント利益	115	95	210	—	210
セグメント資産	6,004	461	6,466	912	7,378
その他の項目					
減価償却費	322	25	348	—	348
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	8	1	9	△0	9
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	145	—	145	—	145

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

セグメント資産の調整額912百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産912百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当連結会計年度 (自2020年4月1日至2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,545	185	8,730	—	8,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,545	185	8,730	—	8,730
セグメント利益	23	87	111	—	111
セグメント資産	5,706	449	6,155	1,154	7,310
その他の項目					
減価償却費	299	25	325	—	325
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	7	0	8	△0	8
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	117	4	122	—	122

(注) 1. 調整額は、以下の通りであります。

セグメント資産の調整額912百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,154百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自2019年4月1日至2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自2020年4月1日至2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日至2020年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日至2021年3月31日）
該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日至2020年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日至2021年3月31日）
該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2019年4月1日至2020年3月31日）
該当事項はありません。

当連結会計年度（自2020年4月1日至2021年3月31日）
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,038円90銭	1,079円17銭
1株当たり当期純利益金額	25円56銭	44円65銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額（百万円）	76	134
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 （百万円）	76	134
期中平均株式数（千株）	3,002	3,002

(重要な後発事象)

該当事項はありません。